



第六十九回

全日本東西対抗 剣道大会

日時

2023年 9月24日  午前9時30分開会

会場

沖縄県立武道館 アリーナ棟
沖縄県那覇市奥武山町52

主催

公益財団法人全日本剣道連盟

主管

一般財団法人沖縄県剣道連盟

後援: 沖縄県・那覇市・沖縄県教育委員会・公益財団法人沖縄県スポーツ協会
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー・沖縄タイムス社・琉球新報社
NHK沖縄放送局・琉球放送・沖縄テレビ・琉球朝日放送



剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。

「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。
この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。

お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、
「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す
指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。

「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、
文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

第69回 全日本東西対抗剣道大会 日程表

9月23日(土)

No.	種 目	摘 要	時 間	所要時間
1	東 軍 練 習	沖縄県立武道館	15：50～16：40	50分
2	西 軍 練 習	沖縄県立武道館	15：50～16：40	50分
3	審 判 会 議	沖縄県立武道館	16：50～17：40	50分

※審判会議は東軍・西軍の監督も参加する。

9月24日(日)

会場：沖縄県立武道館

No.	種 目	摘 要	時 間	所要時間
1	選 手 集 合		9：00	
2	選 手 整 列		9：25	
3	開 会 式		9：30～10：00	30分
4	日 本 剣 道 形		10：00～10：15	15分
5	試 合	女子の部(9試合)	10：25～11：37	1時間12分
6	試 合	男子の部(31試合)	11：47～15：55	4時間8分
7	閉 会 式	表 彰	16：05～16：25	20分

ごあいさつ



公益財団法人 全日本剣道連盟

会長 網代 忠 宏

第 69 回全日本東西対抗剣道大会を、ここ「沖縄県立武道館」において開催するに当りご挨拶を申し上げます。皆さまのご協力により大会が開催できますことに深く感謝申し上げます。

本大会は、昭和 15 年宮崎市において開催された全日本東西対抗武道大会を発祥とし、昭和 29 年より、全日本剣道連盟が継承し本大会名で復活させ、以後毎年、全国各地を巡って開催しており、幾多の名勝負が語り伝えられている由緒ある大会であります。沖縄県での開催は昭和 37 年の第 8 回大会以来 61 年振りとなります。沖縄県民の皆さまには各年代を代表とする選手の剣道をご覧いただけることを喜ばしく思います。

大会は、全国を東西に二分し、剣道六、七、八段の心技ともに円熟した剣士各々 31 名を選抜して行う対抗試合であります。選手構成は大將・副將を範士八段、三將より中堅までを教士八段、十七將より二十八將までを七段、二十九將より先鋒までを六段としております。また、女子の部におきましては、各年代より選抜された 9 名の選手による対抗試合となります。女子選手の活躍を期待すると共に、今後も女子剣道の普及発展に努めて参りたいと思います。

試合時間につきましては、男女とも 5 分とし勝負の決しない場合は 3 分間の延長戦を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとなります。出場される剣士各位には、日頃の修練の成果を遺憾なく発揮され、剣道界における最高レベルの試合を展開されることを切望いたします。

昨今、若年層の剣道人口の伸びにかげりが見られますが、中学校体育で武道が必修課となり伝統文化の継承として、子どもたちへ剣道の魅力が伝わる場になることを希望いたします。また、中高年ならびに女性剣士の増加、更には外国における剣道の普及発展には目を見張るものがあります。全日本剣道連盟としては、「剣道の理念」に則り、「剣道指導の心構え」の現場への浸透を図り、剣道の普及発展に一層の努力を行い、わが国社会の発展に寄与する人造りを進めて行く所存であり、各位のご尽力とご協力をお願いするものであります。

終わりに、本大会の開催に当たり、運営の労をとられます主管の一般財団法人沖縄県剣道連盟に対し、またご後援を頂きました沖縄県・那覇市・沖縄県教育委員会・公益財団法人沖縄県スポーツ協会・一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー・沖縄タイムス社・琉球新報社・NHK 沖縄放送局・琉球放送・沖縄テレビ・琉球朝日放送の皆様方に、衷心より感謝申し上げますご挨拶といたします。

ごあいさつ



一般財団法人 沖縄県剣道連盟

会長 親川 光 俊

沖縄県剣道連盟創立70周年という記念すべき節目の年に、第69回全日本東西対抗剣道大会が、ここ那覇市で開催されますことは、主管県として誠に喜ばしく、ご来沖いただきました全日本剣道連盟役員をはじめ、全国各地から選抜された監督、選手、審判員の皆様を心から歓迎申し上げます。また、本日ここ県立武道館にご来場いただきました観客の皆様にも厚く御礼申し上げます。

さて、前回本大会が沖縄で開催されましたのは、昭和37年の「第8回大会」以来、実に61年振りの開催となります。当時は米軍統治下の琉球政府時代、まだ沖縄県が本土復帰しておらず、全日本剣道連盟役員はじめ選手監督、審判員は皆パスポートを用意し、船旅での来琉でありましたからいかに困難な沖縄大会であったか想像に難くありません。勿論全日本剣道連盟の深いご理解と強い後押しがあったればこそなした大事業であり、また、個々の試合は、観客に感動と夢を十分に与えてくれた大会であったと聞いております。

本日の大会においても全国各地から選抜された選手の皆様が、日頃修練された心と技を遺憾なく発揮され、観客を魅了し、大きな感動と夢を与えてくれるよう期待しております。

本県は、琉球王朝時代より「万国を結ぶ架け橋とならん」と、アジアの国々と長い交流を通じて独自の歴史文化を育んできております。また、「青い海、青い空」を代表する自然は、我が国唯一の亜熱帯性気候からもたらされた宝物であり、多くの観光客の皆様喜んで頂いております。ご滞在中は是非、本県の歴史や文化、自然にも触れて頂けたら幸いに存じます。

結びに、本大会を開催するにあたり、多大のご指導、ご支援を賜りました全日本剣道連盟及び先催県の兵庫、大分、静岡の各県剣道連盟並びに本県関係各位に深甚なる感謝を申し上げ歓迎の挨拶とします。

ごあいさつ



沖縄県知事 玉 城 デニー

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

「第69回全日本東西対抗剣道大会」が、沖縄県を会場として開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

県外から御参加の皆様におかれましては、「スポーツアイランド沖縄」への御来島を、沖縄県民を代表して歓迎いたします。

「日本剣道最高峰の大会」といわれ、歴史と伝統ある本大会が、ここ沖縄の地で開催されることは、本県の剣道において、競技力向上や普及に大きく寄与するものであり、開催に御尽力してこられた公益財団法人全日本剣道連盟、一般財団法人沖縄県剣道連盟をはじめ、関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、厚く感謝申し上げます。

剣道は、日々の稽古により、心身を鍛錬して人間形成を目指す武道であり、多くの国民に親しまれているだけでなく、世界各地に愛好者を持つ、日本を代表する武道の一つであります。

沖縄県では、世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成に向け、国内外で活躍するトップアスリートの育成や誰もが気軽にスポーツに親しむ環境整備に取り組んでいるところであり、老若男女を問わず親しまれる剣道には、大きな期待を寄せております。

大会に出場する剣士の皆様におかれましては、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、最高峰の技の応酬と、気迫にみちた名勝負を繰り広げるとともに、大会を通じて東西の皆様が交流を深め、思い出深い大会となることを願っております。

また、県外から御来島の皆様には、この機会に沖縄の豊かな自然や伝統文化、琉球料理など、様々な魅力にも触れていただければ幸いです。

結びに、本大会の御成功と、選手並びに関係者の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、挨拶いたします。

いっぺー にふえー でーびる。

ごあいさつ



那覇市長 知念 覚

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら。(皆様、こんにちは)

第69回全日本東西対抗剣道大会が那覇市において開催されますことを大変喜ばしく思い、全国各地からお越しの選手並びに関係者の皆様を、32万那覇市民を代表して、心から歓迎いたします。

さて、本市では、「どこでも 誰でも 生涯スポーツができるまち」の実現を目指し、競技力の向上や健康増進、仲間との交流等で、市民が生涯にわたり様々なスポーツ・レクリエーションを楽しめるまちづくりを推進しております。

そのような中、琉球政府時代に開催された第8回大会から61年の歳月を経て、再びこの地で同大会が開催されることを大変感慨深く思うとともに、本大会が、本県における剣道のより一層の普及と発展に寄与するものとして、広く県民・市民に生涯スポーツ及び健康づくりのきっかけになるものと考えております。

日本剣道界最高峰として位置づけられる本大会では、全国各地から選抜された一流の剣士の壮麗な勇姿が見られ、その熱い闘志から放たれる一瞬の技の応酬は、全ての観客を魅了することでしょう。

各都道府県代表の剣士の皆様におかれましては、これまで厳しい修練を積まれてこられた成果を存分に発揮され、気迫に満ちたすばらしい試合が展開されることを期待いたします。

また、ここ那覇市は、古くより海外との交流拠点として栄え、世界遺産郡として登録された首里城跡や識名園などを有し、琉球王国の文化が華開いた地でもあります。ぜひ、この機会に沖縄独自の文化や伝統芸能にも触れていただき、良き思い出のひとつに加えていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました一般財団法人 沖縄県剣道連盟ならびに関係者の皆様には深く感謝申し上げます、本大会のご盛会と皆様のご健闘を祈念し、祝辞といたします。

いっぺー にふえー でーびる (まことにありがとうございます)。

大会次第

1. 開会式

- (1) 役員・選手整列
- (2) 国歌斉唱
- (3) 優勝旗返還 東軍大将 剣道範士 東 良美
- (4) 挨拶 (公財)全日本剣道連盟会長 網代忠宏
- (5) 祝辞 沖縄県知事 玉城デニー
- (6) 祝辞 那覇市長 知念覚
- (7) 歓迎の言葉 (一財)沖縄県剣道連盟会長 親川光俊
- (8) 関係者紹介
- (9) 試合上の注意 審判長 梯正治
- (10) 花束贈呈
- (11) 選手退場

2. 公開演武

- 日本剣道形 打太刀 剣道 教士七段 宮良政勝
仕太刀 剣道 教士七段 大浦勲

3. 試合

- 女子の部 9 試合
男子の部 31 試合

4. 閉会式

- (1) 選手整列
- (2) 表彰
- (3) 挨拶
- (4) 役員・選手退場

表彰

1. 優勝には、賞状ならびに優勝旗、賞品を授与する。
準優勝には、賞品を授与する。
2. 優秀試合賞
格の高い且つ感動的な試合に対しては、選手双方に全日本剣道連盟より賞状ならびに賞品を授与する。
3. 優秀選手賞
優秀選手には、全日本剣道連盟より賞状ならびに賞品を授与する。

第69回 全日本東西対抗剣道大会〔男子の部〕要項抜粋

1. 趣 旨

本大会は剣道の真価を示すものとして全国を東西に二分し、各層における卓越した剣士を選抜して対抗試合を行うものであり、1940年2月に始まった由緒ある行事を継承して、全剣連設立以来開催している。

2. 東西の分け方

- (1) 東軍は福井県、愛知県、岐阜県、三重県より以東。
- (2) 西軍は滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県より以西。

3. 両軍の編成と選手の構成

- (1) 監督：各1名（女子の部と兼任）、選手：各31名
- (2) 構成 ア. 大将・副将は、全日本剣道連盟（以下、全剣連という）選手選考委員会で選考し、選出する。
イ. 3将より中堅は、教士八段受有者で年齢60歳以下の者。
ウ. 17将より28将は、七段受有者で年齢46歳以下の者。
エ. 29将より先鋒は、六段受有者で年齢33歳以下の者。
（年齢の基準は大会前日とする）

4. 選出方法

- (1) 監督は、全剣連会長が委嘱する。
- (2) 選手（大将・副将は除く）は、各都道府県剣道連盟（以下、各連盟という）から推薦された候補者を、全剣連会長が委嘱した選手選考委員会で選考し、選出する。この場合、若干の補欠を設ける。

5. 審判員

審判長1名、審判員12名を全剣連会長が委嘱する。

6. 組合せ

- (1) 組合せは、選手選考委員会で決定する。
- (2) 参加申込後、選手に事故が生じて出場不可能の場合は、補欠選手の中より充当する。

7. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合は、3本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、3分の延長戦を1回のみ行い、先に1本取った者を勝ちとする。それでも勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- (3) 試合は東西各31名の選手による、勝者数法とするが、勝者数、取得総本数共に同数の場合は、引き分けとする。

第69回 全日本東西対抗剣道大会〔女子の部〕要項抜粋

1. 趣 旨

女子剣道の技能向上と、より一層の普及発展を図ることを目的として、全国を二分し、女子剣士の認識を深めようとするものである。

2. 東西の分け方

- (1) 東軍は福井県、愛知県、岐阜県、三重県より以東。
- (2) 西軍は滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県より以西。

3. 両軍の編成と選手の構成

- (1) 監督：各1名（男子の部と兼任）、選手：各9名
- (2) 構成 ア. 大将・副将は年齢50歳以上の者。
イ. 3将より中堅は、年齢40歳以上、49歳以下の者。
ウ. 6将・7将は、年齢30歳以上、39歳以下の者。
エ. 次鋒・先鋒は、年齢20歳以上、29歳以下の者。
段位は制限しない
(年齢の基準は大会前日とする)

4. 選出方法

- (1) 監督は、全日本剣道連盟（以下、全剣連という）会長が委嘱する。
- (2) 選手は、各都道府県剣道連盟（以下、各連盟という）から推薦された候補者を、全剣連会長が委嘱した選手選考委員会で選考し、選出する。この場合、若干の補欠を設ける。

5. 審判員

審判長1名、審判員12名を全剣連会長が委嘱する。

6. 組合せ

- (1) 組合せは、選手選考委員会で決定する。
- (2) 参加申込後、選手に事故が生じて出場不可能の場合は、補欠選手の中より充当する。

7. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合は、3本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、3分の延長戦を1回のみ行い、先に1本取った者を勝ちとする。それでも勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- (3) 試合は東西各9名の選手による、勝者数法とするが、勝者数、取得総本数共に同数の場合は、引き分けとする。

第69回 全日本東西対抗剣道大会 役員

【大会会長】	全日本剣道連盟会長	網代忠宏
【大会副会長】	全日本剣道連盟副会長	真砂威
	全日本剣道連盟副会長	藤原崇郎
	沖縄県剣道連盟会長	親川光俊
【大会顧問】	全日本剣道連盟相談役	伊藤元明
	〃	上田憲幸
	〃	奥島快男
	〃	児嶋克
	〃	福本修二
	全日本剣道連盟審議員	大嶽將文
	〃	小倉昇
	〃	忍足功
	〃	梯正治
	〃	黒郷源慈
	〃	小坂達明
	〃	島野泰山
	〃	末平佑二
	〃	鈴木康生
	〃	中田瑠士
	〃	牧瀬憲保
	〃	三宅一志
	〃	目黒大作
	全日本剣道連盟顧問(医師関係)	宮坂昌之
	〃	宮坂信之

第69回 全日本東西対抗剣道大会 役員

【大会参与】	武田 牧雄	増田 知幸	小松 誠	安部美知雄
	小笠原宏志	井上 雅勝	長谷川弘一	水田 重則
	白石 正範	小林 一隆	栗原 憲一	千葉 胤道
	小林 英雄	渡邊 宏一	荻莊 誠	南 信廣
	大門 進	片山 外一	加瀬 浩明	二橋 高弘
	堤 俊彦	中森 博文	中野 正堂	伊吹 文明
	長榮 周作	吉田 克法	世耕 弘成	神谷 明文
	藤田 長久	田中 秀和	中西 章	岸田 芋
	高木 弘伸	三原 悦男	渡邊 三則	藤川 和秋
	青柳 俊彦	川上 春生	三浦 悟	尾方 正照
	橋口 光博	俣木 正喜		

【大会委員長】	全日本剣道連盟専務理事	中谷 行道	
	【大会副委員長】	全日本剣道連盟普及担当常任理事	蒔田 実
	全日本剣道連盟審判担当常任理事	香田 郡秀	
	全日本剣道連盟女子担当常任理事	佐藤 厚子	

【大会委員】	上浦かなえ	軽米 満世	篠原 政美	高橋 俊昭
	谷 勝彦	内藤 常男	長尾 進	濱崎 満
	櫻井 美香	秋山 知子	池田 公律	井島 章
	太田健一郎	岡嶋 恒	小田 佳子	笠村 浩二
	金井 優子	木下 博文	久保木 優	佐伯 浩美
	高橋 昭博	常田 政邦	俊野 徹人	成瀬 朋恵
	灰谷 達明	本多 進一	武藤士津夫	山本 洋一
	横須ます子	吉岡 成子	吉田 泰将	奈良 隆
	安保 洋子	小風 明	吉田 篤生	

【実行委員長】	富山嘉津男			
	【実行副委員長】	松原 徹	高澤 彰	宇地原 豊
【実行委員】	小林 晋一	加古 恵	高橋 嶺	長濱 直弥
	斎藤 諒	松浦 千恵	鈴木 徳之	新美俊太郎
	遠藤 尚人	矢野 雅之	澤飯 功明	和栗 諒人
	鈴木 淳子			

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

第69回 全日本東西対抗剣道大会 競技役員

【実行委員会会長】	親川 光俊							
【実行委員会副会長】	平良 辰美	竹田 忠司	宇良 永子					
【実行委員長】	富山嘉津男							
【実行副委員長】	古波藏 正	宇地原 豊						
【総務・事務専門部会部会長】	宇地原 豊							
【総務副部会長】	奥濱 恵榮	當銘 秀之	島袋 聡					
【総務係】	田代 勝哉	末吉 龍太	天願 春一	仲間 聡	古謝 茂哲			
	上地 長保	上江洲佳世	比嘉 周作					
【企画専門部会部会長】	梶原 芳也							
【企画副部会長】	島 義万	長門 貴子	富山智江美	中本 正泰	伊佐 直己			
【受付係】	長門 貴子	井上 慶	大城名奈子	金城 夢乃	森根 綾香			
【案内・誘導係】	伊佐 直己	仲間 大輔	金良 啓二	下里 浩樹				
【物品販売係】	梶原 治代	池間 聡子	與那嶺一真	太田 祥子				
【接待係】	富山智江美	中本 正泰	島 義万	島袋 智子	森下 貴江			
	西村 鮎美	津波古ちはる	與那嶺静香	砂川 幸枝	大城 鶴香			
	沖野 裕子	浦崎 梨奈	白石 珠美	澤村 弘美	江崎 光			
	金城 咲子	又吉いつか	前村 寿弥	中島 太郎	前村 寿輝			
	キーファウイリアム・マシュー		久保田由紀乃					
【広報記録】	上江洲佳世	比嘉 周作	伊佐 光	具志堅智泰				
【競技式典専門部会部会長】	富山嘉津男							
【競技式典副部会長】	宮良 政勝							
【競技式典副班長】	我喜屋良成	福島 伸朗						
【式典係】	我喜屋良成	仲島 博文	島田 錦	渡口 真悟	下地 博文			
	平良 祐輔							
【進行係】	我喜屋 丈	福島 伸朗						
【放送係】	宮平 齐	又吉伊吹木	万里崎広太	渡邊 咲季	川邊 美樹			
【観客誘導係】	上地 長保	山城美智子	中島 竹男	宮良 政宏				
【競技副部会長】	前村 尚寿							
【競技副班長】	請舛 武昭	稲福 隆	諸喜田 徹	石川 清正	澤村 卓巳			
	小山 晴久	西 正義	前村 幸芳	大浦 勲				
【競技係】	前村 尚寿	稲福 隆	識名 剛					

【会場設営係】	稲福 隆	識名 剛	仲田 和人	久田 友雅	請舛 武昭
	喜久山朝教	下地 農			
【時計係】	石川 清正	喜久山朝教	学生 7 名		
【掲示係】	澤村 卓巳	久田 友雅			
【審判員用掲示係】	大浦 勲	山川 泰二			
【記録係】	諸喜田 徹	友利 浩介	仲田 和人	手登根真央	大城 均
	與儀 元彦	當山 実	下地 農	松岡 慎二	仲西 旭
	井上 翼	伊禮 聖人	伊波 渉	白玉 孝彬	佐藤虎太郎
	江崎琳太郎	島尻 智明	大浦 祐太		
【表示係】	小山 晴久	佐久間眞之			
【選手係】	西 正義	福原 賞	仲田 和人	嘉陽 宗隆	
【審判係】	前村 幸芳	謝花 昇太	山田 義光	伊波 武竜	森田 安人
【練習会場係】	請舛 武昭	鶴田 康介	大城 行貴	桃原 竜也	屋富祖俊貴
	普天間太研	宮城 匠吾			
【救護係】	奥島 憲彦	永山 盛隆	大仲 良仁	比嘉 愛子	
【宿泊輸送専門部会部会長】	尾本まどか				
【宿泊輸送専門部会副部会長】	上江洲由次	西村 康	大道 裕人		
【宿泊班長】	若林 新				
【宿泊係】	若林 新	砂川 勇人	大城 朝彦	平良 勝	新垣 才門
	島尻 奈美	西村 康			
【輸送警備班長】	比嘉 景康				
【輸送係】	大道 裕人	上間 正智	大城 治	平安 政喜	照屋 卓也
【駐車場係】	渡名喜大人	大城 治	平安 政喜	照屋 卓也	
【警備係】	比嘉 景康	大城 祥平	大城 良也		
【レセプション】	上江洲由次	前田美紀子	翁長 秋奈		
【補助員】	沖縄市、宜野湾市、浦添市、那覇市、島尻郡、宮古郡剣道連盟 前原、嘉手納、コザ、球陽、昭和薬科大付属、那覇国際、 首里東、首里、興南、那覇、小禄高等学校剣道部 那覇、小禄、興南高等学校剣道部父母会				

第69回 全日本東西対抗剣道大会 審判員・公開演武者

● 審判長 ●



範士
梯

正 治
(東 京)

● 審判員 ●



範士
濱 崎 満
(東 京)



範士
亀 井 徹
(熊 本)



範士
小 坂 達 明
(大 阪)



範士
塚 本 博 之
(東 京)



範士
古 川 和 男
(北 海 道)



範士
笠 村 浩 二
(神 奈 川)



範士
大 城 戸 功
(愛 媛)



範士
佐 藤 桂 生
(兵 庫)



範士
谷 勝 彦
(群 馬)



範士
松 田 勇 人
(奈 良)



範士
下 島 貴 代 一
(岐 阜)



範士
重 松 隆
(滋 賀)

● 公開演武 (日本剣道形) ●



打太刀
教士七段
宮 良 政 勝



仕太刀
教士七段
大 浦 勲

第69回 全日本東西対抗剣道大会 監督・選手

東 軍

西 軍

末平 佑二 (すえひら ゆうじ) 石川県 **監督** 石塚 美文 (いしづか よしふみ) 大阪府



- ①範士八段
- ②75歳
- ③東京教育大学
- ④無職
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国教職員剣道大会
- ⑥石川県



- ①範士八段
- ②72歳
- ③福山高等学校
- ④富士グループ(株)顧問
- ⑤全日本剣道選手権大会
世界剣道大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
全日本都道府県対抗大会
全国警察剣道大会(団体・個人)
- ⑥鹿児島県

林田 匡平 (はやしだ きょうへい) 福井県 **先鋒** 土谷 有輝 (つちたに ゆうき) 大阪府



- ①六段
- ②29歳
- ③筑波大学
- ④教員(福井県立丸岡高等学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会 準優勝 3位2回
国民体育大会 3位
全国教職員剣道大会 個人優勝2回 2位
全日本学生剣道選手権大会 優勝
全日本学生優勝大会 優勝
- ⑥長崎県



- ①六段
- ②31歳
- ③国土館大学
- ④警察官(大阪府警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会3位
全国警察剣道選手権大会
個人優勝 3位 1部優勝4回 3位
国民体育大会
- ⑥石川県

竹ノ内佑也 (たけのうち ゆうや) 東京都 **次鋒** 村上 泰彦 (むらかみ やすひこ) 愛媛県



- ①六段
- ②30歳
- ③筑波大学
- ④警察官(警視庁)
- ⑤全日本剣道選手権大会 優勝
全国警察剣道選手権大会 優勝
世界剣道大会 団体優勝 個人2位
- ⑥宮崎県



- ①六段
- ②33歳
- ③国土館大学
- ④警察官(愛媛県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
準優勝 国民体育大会 準優勝
- ⑥愛媛県

野村 洋介 (のむら ようすけ) 神奈川県 **29将** 中澤 公貴 (なかざわ きみたか) 高知県



- ①錬士六段
- ②33歳
- ③本庄第一高等学校
- ④警察官(神奈川県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国警察剣道大会 優勝
全国警察剣道選手権大会 準優勝 3位2回
国民体育大会
- ⑥群馬県



- ①錬士六段
- ②33歳
- ③国土館大学
- ④警察官(高知県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会 全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
- ⑥高知県

東 軍

西 軍

地白 允大 (おしろ みつひろ) 北海道 **28将** **鈴木 克則** (すずき かつのり) 宮崎県



- ① 錬士七段
- ② 35歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 警察官(北海道警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 3位 バスト8
全国警察剣道大会第1部 準優勝 3位2回
全国警察剣道選手権大会 5位
全日本都道府県対抗剣道大会
国民体育大会
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥ 北海道



- ① 錬士七段
- ② 36歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 警察官(宮崎県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国警察剣道大会
- ⑥ 鹿児島県

浦川伸一郎 (うらかわ しんいちろう) 神奈川県 **27将** **藤山 光治** (ふじやま こうじ) 長崎県



- ① 錬士七段
- ② 36歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 警察官(神奈川県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全国警察剣道選手権大会
全国警察剣道大会 準優勝
全日本都道府県対抗剣道大会
国民体育大会 準優勝
- ⑥ 福岡県



- ① 錬士七段
- ② 39歳
- ③ 中央大学
- ④ 警察官(長崎県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
国民体育大会 優勝
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国警察剣道大会 1部3位 2部優勝 勝
- ⑥ 長崎県

鹿野 允成 (しかの みつなり) 山梨県 **26将** **上地安一郎** (うえち やすいちろう) 沖縄県



- ① 錬士七段
- ② 38歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 教員(甲府市立甲府商業高等学校)
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道大会
全国教職員剣道大会 3位
- ⑥ 宮城県



- ① 錬士七段
- ② 39歳
- ③ 沖縄県立豊見城高等学校
- ④ 警察官(沖縄県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥ 沖縄県

後木 顕人 (うしろぎ あきひと) 北海道 **25将** **西山 弘一** (にしやま ひろかず) 高知県



- ① 錬士七段
- ② 38歳
- ③ 国際武道大学
- ④ 警察官(北海道警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
国民体育大会
全日本東西対抗剣道大会
全国警察剣道大会 第1部3位 入賞1回
全国警察剣道選手権大会
- ⑥ 北海道



- ① 錬士七段
- ② 40歳
- ③ 近畿大学
- ④ 警察官(高知県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
- ⑥ 高知県

東 軍

西 軍

野崎 司 (のざき つかさ) 富山県 **24将** **富永 教介** (とみながのりゆき) 鹿児島県



- ① 錬士七段
- ② 40歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 教員(富山県立雄峰高等学校)
- ⑤ 全国警察剣道大会
- ⑥ 富山県



- ① 錬士七段
- ② 40歳
- ③ 志學館大学
- ④ 警察官(鹿児島県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国警察剣道大会 3部優勝
- ⑥ 鹿児島県

古畑 健吾 (ふるはた けんご) 宮城県 **23将** **兼田 祐人** (かねだ ゆうと) 京都府



- ① 錬士七段
- ② 40歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 刑務官(仙台矯正管区 警備指導官)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国矯正職員武道大会 団体3位 個人2位
- ⑥ 青森県



- ① 教士七段
- ② 40歳
- ③ 京都産業大学
- ④ 警察官(京都府警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会 1部3位 2部優勝
- ⑥ 兵庫県

橋本 桂一 (はしもと けいいち) 埼玉県 **22将** **萩原 寿矢** (はぎはら としや) 大阪府



- ① 教士七段
- ② 42歳
- ③ 帝京大学
- ④ 会社員(伊田テクノス株式会社)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 優勝 3位
国民体育大会 優勝
全日本選抜剣道七段選手権大会 優勝
全日本実業団大会 準優勝
- ⑥ 埼玉県



- ① 教士七段
- ② 41歳
- ③ 近畿大学
- ④ 警察官(大阪府警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
国民体育大会
全国警察剣道大会 優勝5回
全国警察剣道選手権大会 3位
- ⑥ 愛知県

坂本 崇 (さかもと たかし) 静岡県 **21将** **上村 秀作** (かみむら しゅうさく) 京都府



- ① 教士七段
- ② 45歳
- ③ 筑波大学
- ④ 教員(静岡県立磐田南高等学校)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本選抜剣道七段選手権大会
全国教職員剣道大会 個人優勝
国民体育大会 優勝
- ⑥ 宮崎県



- ① 教士七段
- ② 43歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 警察官(京都府警察)
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会 3位
全国警察剣道大会 1部3位 2部優勝
全国警察選手権大会
- ⑥ 鹿児島県

東 軍

西 軍

白石 賢史 (しらいし たかふみ) 栃木県 **20将** **森 祐輔** (もり ゆうすけ) 福岡県



- ①教士七段
- ②44歳
- ③中央大学
- ④警察官(栃木県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国警察剣道大会 3部優勝2回 準優勝 3位
全国警察剣道選手権大会
- ⑥栃木県



- ①教士七段
- ②43歳
- ③国士舘大学
- ④警察官(福岡県警察 九州管区警察学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 2位
全日本東西対抗剣道大会
全国警察剣道大会 2部優勝
国民体育大会
- ⑥福岡県

高添 政史 (たかさえ まさし) 山梨県 **19将** **仲間 洋輔** (なかま ようすけ) 沖縄県



- ①教士七段
- ②44歳
- ③亜細亜大学
- ④警察庁技官(警察大学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会 全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
- ⑥山梨県



- ①錬士七段
- ②44歳
- ③国際武道大学
- ④沖縄県庁(沖縄県警察から出向中)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
国民体育大会
- ⑥沖縄県

若生 大輔 (わこう だいすけ) 北海道 **18将** **杉本 健介** (すぎもと けんすけ) 兵庫県



- ①教士七段
- ②46歳
- ③国際武道大学
- ④警察官(北海道警察)
- ⑤世界剣道大会
全日本剣道選手権大会 準優勝
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会 3位
全日本選抜剣道七段選手権大会 3位
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥北海道



- ①教士七段
- ②46歳
- ③鹿屋体育大学
- ④警察官(兵庫県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
国民体育大会
- ⑥佐賀県

下池 浩司 (しもいけ こうじ) 千葉県 **17将** **村木 英仁** (むらき ひでと) 熊本県



- ①教士七段
- ②46歳
- ③国際武道大学
- ④警察官(千葉県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
国民体育大会
全国警察剣道選手権大会
全国警察剣道大会 2部優勝
- ⑥千葉県



- ①教士七段
- ②46歳
- ③日本体育大学
- ④警察官(熊本県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
- ⑥熊本県

東 軍

西 軍

名生伊智郎 (みょう いちろう) 宮城県 **中堅** **田中 武志** (たなか たけし) 京都府



- ①教士八段
- ②53歳
- ③東洋大学
- ④警察官(宮城県警察 上席術科指導官)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
中倉旗剣道大会
- ⑥宮城県



- ①教士八段
- ②48歳
- ③龍谷大学
- ④警察官(京都府警察)
- ⑤第13回世界剣道選手権大会 個人準優勝
全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全国警察剣道大会 1部3位 2部優勝
全国警察剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本学生剣道優勝大会 3位
全日本学生剣道選手権大会
- ⑥熊本県

安良岡 修 (やすらおか おさむ) 栃木県 **15将** **島田 貴文** (しまだ たかふみ) 長崎県



- ①教士八段
- ②59歳
- ③中京大学
- ④教員(小山市立小山城南中学校)
- ⑤国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
全国教職員剣道大会
全日本道場対抗剣道優勝大会
- ⑥栃木県



- ①教士八段
- ②51歳
- ③中央大学
- ④警察官(長崎県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
- ⑥長崎県

岩脇 司 (いわわき つかさ) 石川県 **14将** **大淵 量** (おおぶち りょう) 福岡県



- ①教士八段
- ②56歳
- ③金沢大学
- ④教員(石川県小松市立芦城中学校 校長)
- ⑤全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国教職員剣道大会
- ⑥石川県



- ①教士八段
- ②50歳
- ③筑波大学
- ④教員(久留米商業高等学校)
- ⑤全国教職員剣道大会
団体 2位 3位 個人 優勝 3位
国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 優勝 準優勝
- ⑥福岡県

中田 勝巳 (なかだ かつみ) 群馬県 **13将** **阿部 始郎** (あべ しろう) 兵庫県



- ①教士八段
- ②52歳
- ③群馬県立高崎商業高等学校
- ④警察庁技官(警察大学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
- ⑥群馬県



- ①教士八段
- ②56歳
- ③国土館大学
- ④教員(加古川市立山手中学校 校長)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会 3位4回
全国教職員剣道大会 個人準優勝
国民体育大会
- ⑥兵庫県

東 軍

西 軍

茂木 良文 (もてぎ よしふみ) 群馬県

12将

竹中健太郎 (たけなか けんたろう) 鹿児島県



- ①教士八段
- ②56歳
- ③東海大学
- ④群馬県教育委員会
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国教職員剣道大会
寛仁親王杯全国八段選抜剣道大会
- ⑥群馬県



- ①教士八段
- ②51歳
- ③筑波大学
- ④鹿屋体育大学 教授
- ⑤世界剣道選手権大会 個人2位
全日本剣道選手権大会
全国教職員剣道大会 個人・団体優勝
国民体育大会 2位 3位
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥兵庫県

岩佐 英範 (いわさ ひでのり) 東京都

11将

米田 敏郎 (こめだ としろう) 熊本県



- ①教士八段
- ②53歳
- ③東海大学
- ④警察官(警視庁)
- ⑤全日本剣道選手権大会 優勝
世界剣道選手権大会 個人2位
全国警察剣道大会 団体優勝
寛仁親王杯全国八段選抜剣道大会 優勝
- ⑥千葉県



- ①教士八段
- ②54歳
- ③中央大学
- ④教員(九州学院中高等学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会
国民体育大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
- ⑥熊本県

寺地 四幸 (てらち よつゆき) 東京都

10将

馬場 健治 (ばば けんじ) 岡山県



- ①教士八段
- ②54歳
- ③鹿児島商工高等学校(現樟南高等学校)
- ④警察官(警視庁)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本選抜剣道七段選手権大会
全国警察剣道大会 優勝5回 団体2位
全国警察剣道選手権大会 優勝 3位3回
- ⑥鹿児島県



- ①教士八段
- ②60歳
- ③法政大学
- ④警察官(岡山県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
- ⑥岡山県

今里 学 (いまざと まなぶ) 神奈川県

9将

平田 裕亮 (ひらた ひろあき) 大阪府



- ①教士八段
- ②58歳
- ③筑波大学
- ④教員(神奈川県立荏田高等学校)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会 3位
全国教職員剣道大会 3位
- ⑥神奈川県



- ①教士八段
- ②52歳
- ③国土館大学
- ④大阪府警察 剣道副主席師範
- ⑤世界剣道選手権大会
全国警察剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
- ⑥香川県

東 軍

西 軍

榊 悌宏 (さかき よしひろ) 千葉県 **8将** **工藤 良仁** (くどう よしひと) 京都府



- ①教士八段
- ②60歳
- ③東海大学
- ④教員(東海大学付属浦安高等学校)
- ⑤全日本学生剣道選手権大会
全国教職員剣道大会
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥徳島県



- ①教士八段
- ②55歳
- ③國學院大學
- ④警察官(京都府警察)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会 3位
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
- ⑥大分県

清野 忍 (きよの のぶ) 山梨県 **7将** **濱田 英徳** (はまだ ひでのり) 奈良県



- ①教士八段
- ②58歳
- ③明治大学
- ④峡南広域行政組合(事務局長)
- ⑤全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
- ⑥山梨県



- ①教士八段
- ②53歳
- ③大阪体育大学
- ④警察官(奈良県警察)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 3位
国民体育大会
- ⑥奈良県

湯澤 寛 (ゆざわ ひろし) 秋田県 **6将** **愛甲 和彦** (あいこう かずひこ) 大阪府



- ①教士八段
- ②59歳
- ③大阪体育大学
- ④秋田県立秋田西高等学校 校長
- ⑤全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
全国教職員剣道大会 2位 3位
- ⑥秋田県



- ①教士八段
- ②56歳
- ③鹿児島商工高等学校
- ④大阪府警察 剣道主席師範
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本選抜剣道八段優勝大会 準優勝
国民体育大会
全国警察剣道大会 団体3回優勝
- ⑥鹿児島県

栄花 英幸 (えいが ひでゆき) 北海道 **5将** **吉田 茂生** (よしだ しげお) 徳島県



- ①教士八段
- ②59歳
- ③東海大学
- ④教員(北海道恵庭南高等学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会 準優勝 3位2回
中倉旗争奪剣道選手権大会 優勝
全日本選抜剣道八段優勝大会 優勝 3位
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 優勝2回 3位
全国教職員剣道大会 優勝 準優勝
- ⑥北海道



- ①教士八段
- ②56歳
- ③徳島市立高等学校
- ④公務員
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
- ⑥徳島県

東 軍

西 軍

本名 和彦 (ほんな かずひこ) 茨城県

4将

玉浦 寛二 (たまうら かんじ) 香川県



- ①教士八段
- ②60歳
- ③日本大学
- ④(株)日立製作所
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会 3位
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会 優勝
全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本実業団剣道大会
全日本実業団高壮年剣道大会 優勝
寛仁親王杯剣道八段選抜大会 2位
- ⑥茨城県



- ①教士八段
- ②60歳
- ③国士舘高等学校
- ④警察官(香川県警察学校 副校長)
- ⑤全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会 全国警察剣道大会
- ⑥香川県

倉成 健治 (くらなり けんじ) 愛知県

3将

山崎 克弘 (やまさき かつひろ) 愛媛県



- ①教士八段
- ②60歳
- ③中京大学
- ④(株)ユーマットランス 管理本部
- ⑤全日本剣道選手権大会 3位
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 2位
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
- ⑥福岡県



- ①教士八段
- ②55歳
- ③松山大学
- ④刑務官
- ⑤全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国矯正教職員武道大会
- ⑥広島県

長尾 進 (ながおすすむ) 東京都

副将

松下 悦郎 (まつした えつろう) 鹿児島県



- ①範士八段
- ②65歳
- ③筑波大学大学院
- ④明治大学国際日本学部 教授
- ⑤寛仁親王杯剣道八段選抜大会
国民体育大会
- ⑥熊本県



- ①範士八段
- ②67歳
- ③法政大学
- ④団体職員 (鹿児島県剣道連盟理事長)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
全国警察剣道大会 2部優勝
全日本学生剣道優勝大会 優勝 2位
- ⑥鹿児島県

東 良美 (ひがしよしみ) 愛知県

大将

清水 新二 (しみずしんじ) 熊本県



- ①範士八段
- ②66歳
- ③法政大学
- ④星城大学・NTP名古屋トヨペット師範
- ⑤全日本選抜剣道八段優勝大会 優勝 2位 3位
全日本東西対抗剣道大会
全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国警察剣道大会
国民体育大会
- ⑥鹿児島県



- ①範士八段
- ②66歳
- ③中央大学
- ④無職
- ⑤世界剣道選手権大会 個人3位
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 優勝
国民体育大会 2位 3位
全日本剣道選手権大会
全日本選抜剣道八段優勝大会 3位
全日本東西対抗剣道大会
全国警察剣道大会 優勝4回(1部1回 2部3回)
- ⑥熊本県

第69回 全日本東西対抗剣道大会 監督・選手(女子の部)

東 軍

西 軍

末平 佑二 (すえひら ゆうじ) 石川県 **監督** 石塚 美文 (いしづか よしふみ) 大阪府



- ①範士八段
- ②75歳
- ③東京教育大学
- ④無職
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国教職員剣道大会
- ⑥石川県



- ①範士八段
- ②72歳
- ③福山高等学校
- ④富士グループ(株)顧問
- ⑤全日本剣道選手権大会
世界剣道大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
全日本都道府県対抗大会
全国警察剣道大会(団体・個人)
- ⑥鹿児島県

川合 芳奈 (かわい かな) 静岡県 **先鋒** 水川 晴奈 (みずかわ はるな) 岡山県



- ①三段
- ②20歳
- ③筑波大学
- ④学生
- ⑤全国高校総体 女子個人 準優勝
全日本女子剣道選手権大会 3位
全日本女子学生剣道選手権大会 優勝
- ⑥静岡県



- ①四段
- ②20歳
- ③法政大学
- ④学生
- ⑤第55・56回全日本女子学生剣道選手権大会 優勝
全日本女子学生剣道優勝大会 2位 3位
関東女子学生剣道優勝大会 優勝
- ⑥岡山県

柿元 冴月 (かきもと さつき) 茨城県 **次鋒** 妹尾 舞香 (せのお まいか) 福岡県



- ①四段
- ②22歳
- ③法政大学
- ④学生
- ⑤全国高等学校剣道大会 団体2位2回 個人優勝
全国高等学校剣道選抜大会 2位
国体 優勝
全日本女子学生優勝大会 2位 3位
全日本女子剣道選手権大会
- ⑥福岡県



- ①四段
- ②23歳
- ③鹿屋体育大学
- ④警察官(福岡県警察)
- ⑤世界大会 3位
第60回全日本女子剣道選手権大会 優勝
第61回全日本女子剣道選手権大会 準優勝
全日本女子学生剣道選手権大会 団体優勝
- ⑥福岡県

志藤 綾子 (しとう あやこ) 埼玉県 **7将** 我喜屋世梨華 (がきや せりか) 沖縄県



- ①五段
- ②30歳
- ③大東文化大学
- ④会社員(伊田テクノス(株))
- ⑤全日本女子剣道選手権大会 7回 準優勝
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 優勝
国民体育大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本女子実業団剣道大会 優勝2回
- ⑥山形県



- ①六段
- ②34歳
- ③国際武道大学
- ④会社員(株)Noguni Next)
- ⑤全日本女子剣道選手権大会 7回
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
全国教職員剣道大会 準優勝 3位
- ⑥沖縄県

東 軍

西 軍

追 美樹 (さこみき) 愛知県 6将 石塚 芳 (いしづか かおり) 大阪府



- ① 錬士六段
- ② 35歳
- ③ 法政大学
- ④ 警察官(愛知県警察)
- ⑤ 全日本女子剣道選手権大会 国民体育大会 4位
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
- ⑥ 大分県



- ① 六段
- ② 35歳
- ③ 私立鹿児島高等学校
- ④ 警察官(大阪府警察)
- ⑤ 全日本女子剣道選手権大会 3位
全国警察剣道選手権大会 2位 3位
全国警察剣道大会 優勝
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 優勝
- ⑥ 大阪府

山田 聖子 (やまだ せいこ) 福井県 中堅 馬越 千里 (うまこしちさと) 愛媛県



- ① 六段
- ② 41歳
- ③ 筑波大学
- ④ 非常勤講師(福井工業大学付属福井高等学校)
- ⑤ 全日本女子学生剣道優勝大会 優勝
国民体育大会 優勝
全国教職員剣道大会 3位2回
全日本女子剣道選手権大会 10回
- ⑥ 長崎県



- ① 錬士七段
- ② 40歳
- ③ 東海大学大学院
- ④ 大学教員(聖カタリナ大学)
- ⑤ 第64回全日本東西対抗剣道大会
全日本女子剣道選手権大会 4回
国体優勝 成年女子
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
全日本女子学生優勝大会
全日本女子学生剣道選手権大会
インターハイ団体優勝 インターハイ個人
- ⑥ 福島県

新里知佳野 (しんざと ちかの) 東京都 4将 下川 美佳 (しもかわ みか) 鹿児島県



- ① 教士七段
- ② 41歳
- ③ 日本体育大学大学院
- ④ 教員(日本体育大学 准教授)
- ⑤ 世界剣道選手権大会 女子個人3位
全日本女子剣道選手権大会 準優勝 3位
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 優勝
国民体育大会 成年女子準優勝
全国教職員剣道大会 女子個人 準優勝2回
- ⑥ 沖縄県



- ① 教士七段
- ② 43歳
- ③ 鹿屋体育大学大学院
- ④ 教員(鹿屋体育大学)
- ⑤ 世界剣道選手権大会 団体優勝2回 個人3位
全日本東西対抗剣道大会 優秀選手 優秀試合
全日本都道府県対抗女子優勝大会 準優勝 優秀選手
全国教職員剣道大会 個人優勝
- ⑥ 福岡県

黒澤 幸恵 (くろさわ ゆきえ) 神奈川県 3将 宮崎 幸恵 (みやざき さちえ) 佐賀県



- ① 教士七段
- ② 48歳
- ③ 日本体育大学
- ④ 警察官(神奈川県警察)
- ⑤ 全日本女子剣道選手権大会 国民体育大会
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
全国警察剣道選手権大会
- ⑥ 神奈川県



- ① 教士七段
- ② 46歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 教員(佐賀県立佐賀商業高等学校)
- ⑤ 第14回世界剣道選手権大会 個人準優勝
第48回全日本女子剣道選手権大会 準優勝
第3回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 優勝
第72回愛媛国体 準優勝
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥ 佐賀県

東 軍

西 軍

山田 博子 (やまだひろこ) 栃木県 副将 神田真奈美 (かんだまなみ) 福岡県



- ①教士七段
- ②52歳
- ③日本体育大学
- ④教員(宇都宮市立晃陽中学校 副校長)
- ⑤全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 3位
全日本女子剣道選手権大会
全国教職員剣道大会
国民体育大会
- ⑥栃木県



- ①教士七段
- ②50歳
- ③大分県立野津高等学校
- ④刑務官(福岡矯正管区・警備指導官)
- ⑤全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 2回
全国矯正職員武道大会女子剣道試合
個人優勝2回 団体優勝2回
- ⑥大分県

岩脇 律子 (いわわきりつこ) 石川県 大将 西 晴乃 (にしはるの) 鹿児島県



- ①教士七段
- ②57歳
- ③金沢大学
- ④教員(小松市立矢田野小学校)
- ⑤全国家庭婦人剣道大会
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
国民体育大会
全国教職員剣道大会
- ⑥石川県



- ①教士七段
- ②51歳
- ③鹿屋体育大学
- ④教員(鹿児島県立川内高等学校)
- ⑤全日本女子剣道選手権大会
平成3年優勝 平成6年準優勝
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 準優勝
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥鹿児島県

- ①称号段位
- ②年齢
- ③最終学校名
- ④職業
- ⑤剣歴
- ⑥出身地

第69回 全日本東西対抗剣道大会 対戦表(女子の部)

		順位	先鋒	次鋒	7将	6将	中堅	4将	3将	副将	大将	
東軍 監督 末平 佑二	県名	静岡	茨城	埼玉	愛知	福井	東京	神奈川	栃木	石川		勝 分
	称段	三	四	五	錬六	六	教七	教七	教七	教七		
	氏名	川合芳奈	柿元 冴月	志藤 綾子	迫 美樹	山田 聖子	新里 知佳野	黒澤 幸恵	山田 博子	岩脇 律子		
	年齢	20	22	30	35	41	41	48	52	57		
	反則											
	有効打突部位											

西軍 監督 石塚 美文	有効打突部位											勝 分
	反則											
	県名	岡山	福岡	沖縄	大阪	愛媛	鹿児島	佐賀	福岡	鹿児島		
	称段	四	四	六	六	錬七	教七	教七	教七	教七		
	氏名	水川 晴奈	妹尾 舞香	我喜屋 世梨華	石塚 芳	馬越 千里	下川 美佳	宮崎 幸恵	神田 真奈美	西 晴乃		
	年齢	20	23	34	35	40	43	46	50	51		

試合時間	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

第69回 全日本東西対抗剣道大会 対戦表

		順位	先鋒	次鋒	29将	28将	27将	26将	25将	24将	23将	22将	21将	20将	19将	18将
東軍	県名	福井	東京	神奈川	北海道	神奈川	山梨	北海道	富山	宮城	埼玉	静岡	栃木	山梨	北海道	
	称段	六	六	錬六	錬七	錬七	錬七	錬七	錬七	錬七	錬七	教七	教七	教七	教七	教七
	氏名	林田 匡平	竹ノ内 佑也	野村 洋介	地白 允大	浦川 伸一朗	鹿野 允成	後木 顕人	野崎 司	古畑 健吾	橋本 桂一	坂本 崇	白石 賢史	高添 政史	若生 大輔	
	年齢	29	30	33	35	36	37	38	40	40	42	45	44	44	46	
	反則															
	有効打突部位															
	監督	末平 佑二														
西軍	有効打突部位															
	反則															
	県名	大阪	愛媛	高知	宮崎	長崎	沖縄	高知	鹿児島	京都	大阪	京都	福岡	沖縄	兵庫	
	称段	六	六	錬六	錬七	錬七	錬七	錬七	錬七	錬七	教七	教七	教七	錬七	教七	
	氏名	土谷 有輝	村上 泰彦	中澤 公貴	鈴木 克則	藤山 光治	上地 安一郎	西山 弘一	富永 教介	兼田 祐人	萩原 寿矢	上村 秀作	森 祐輔	仲間 洋輔	杉本 健介	
	年齢	31	32	33	36	39	39	40	40	40	41	43	43	44	46	
	監督	石塚 美文														
試合時間	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒

17将	中堅	15将	14将	13将	12将	11将	10将	9将	8将	7将	6将	5将	4将	3将	副将	大将	
千葉	宮城	栃木	石川	群馬	群馬	東京	東京	神奈川	千葉	山梨	秋田	北海道	茨城	愛知	東京	愛知	勝
教七	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	範八	範八	
下池浩司	名生伊智郎	安良岡修	岩脇司	中田勝巳	茂木良文	岩佐英範	寺地四幸	今里学	榊悌宏	清野忍	湯澤寛	栄花英幸	本名和彦	倉成健治	長尾進	東良美	
46	53	59	56	52	56	53	54	58	60	58	59	59	60	60	65	66	
																	分

																	勝
熊本	京都	長崎	福岡	兵庫	鹿児島	熊本	岡山	大阪	京都	奈良	大阪	徳島	香川	愛媛	鹿児島	熊本	
教七	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	範八	範八	
村木英仁	田中武志	島田貴文	大淵量	阿部始郎	竹中健太郎	米田敏郎	馬場健治	平田裕亮	工藤良仁	濱田英徳	愛甲和彦	吉田茂生	玉浦寛二	山崎克弘	松下悦郎	清水新二	
46	48	51	50	56	51	54	60	52	55	53	56	56	60	55	67	66	

分秒																
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

通算成績：男子(東軍27勝・西軍39勝・1引き分け)

回数	期 日	会 場	勝 敗	個 人 成 績
第1回	昭和29年11月28日	宮崎市宮崎県営球場	対試合 西軍19 - 11東軍	特別選抜試合 第1位 中野八十二(東京) 第2位 渡辺 敏雄(東京) 第3位 佐藤 顕(埼玉)
第2回	昭和30年12月11日	愛知県 名古屋市スポーツ会館	対試合 西軍15 - 12東軍	特別選抜試合 第1位 中倉 清(鹿児島) 第2位 佐藤 毅(新潟) 第3位 糸賀 憲一(千葉) 第3位 小笠原三郎(栃木)
第3回	昭和31年4月29日	仙台市 宮城球場特設道場	抜き試合 西軍5人残り勝	第1位 榊原 正(愛知) 10人抜き 第2位 中倉 清(鹿児島) 9人抜き 第3位 杉江 憲(京都) 7人抜き
第4回	昭和32年4月28日	福岡市 スポーツセンター	抜き試合 西軍3人残り勝	第1位 伊保 清次(東京) 10人抜き 第2位 阿部 三郎(東京) 6人抜き 第3位 田島 善人(佐賀) 6人抜き
第5回	昭和33年7月20日	札幌市 中島スポーツセンター	対試合 東軍15(28点) - 15西軍(26点)	特別選抜試合 第1位 菅原恵三郎(北海道) 第2位 萱場 照雄(宮城) 第3位 緒方 敬義(熊本) 第3位 六反田俊雄(大阪)
第6回	昭和34年4月19日	愛知県 犬山特設会場	抜き試合 東軍14人残り勝	第1位 鈴木 守治(愛知) 11人抜き 第2位 伊保 清次(東京) 8人抜き 第3位 大槻 芳男(京都) 4人抜き
第7回	昭和36年9月24日	愛知県 西条市体育館	対試合 西軍16 - 14東軍	特別選抜試合 第1位 伊保 清次(東京) 第2位 津脇 良夫(山口) 第3位 森島 健男(東京) 第3位 鈴木 守治(愛知)
第8回	昭和37年 7月24日・25日	那覇市 琉球大学体育館	対試合 西軍18 - 7東軍	特別選抜試合 第1位 園田 政治(大阪) 第2位 溝口 満雄(鹿児島) 第3位 滝沢 栄八(北海道) 第3位 菊池 伝(神奈川)
第9回	昭和38年3月17日	佐賀県体育館	抜き試合 西軍(大将戦)勝	第1位 遠藤 忠(神奈川) 第2位 高松 英二(山口) 第3位 谷口 安則(福岡)
第10回	昭和39年9月6日	仙台市 宮城スポーツセンター	抜き試合 東軍(大将戦)勝	優秀選手 第1位 桑原 哲明(宮崎) 中野八十二(東京) 第2位 高橋 要(宮城) 大浦 芳彦(福岡) 第3位 伊保 清次(東京) 松原 輝幸(福岡)
第11回	昭和40年4月25日	福岡市 九電記念体育館	抜き試合 東軍(大将戦)勝	優秀選手 第1位 谷川 猛美(香川) 第2位 秋山福三郎(群馬) 高松 英二(山口) 第3位 森島 健男(東京) 原田 源次(岩手)
第12回	昭和41年7月14日	札幌市 中島スポーツセンター	抜き試合 西軍10人残り勝	第1位 今井 三郎(新潟) 第2位 錦戸 真(長崎) 第3位 井上 晋一(京都)
第13回	昭和42年9月24日	鹿児島市 鹿児島県営体育館	対試合 東軍12 - 11西軍	第1位 堀田 國弘(兵庫) 第2位 児嶋 克(鹿児島) 第3位 山根 昇(岡山) 宇都 武夫(大阪)
第14回	昭和43年9月15日	福島市 福島県体育館	対試合 東軍11 - 9西軍	第1位 佐藤 博信(東京) 第2位 村山 慶佑(兵庫) 第3位 好川 忠(福島) 吉村 正純(鹿児島)
第15回	昭和44年9月14日	広島県立体育館	対試合 西軍13(29点) - 13東軍(28点)	第1位 古田 坦(山口) 第2位 原 緑(東京) 第3位 大久保和政(埼玉) 翁長 良明(愛知)
第16回	昭和45年9月20日	高知県民ホール	対試合 西軍13 - 10東軍	第1位 川崎 道男(佐賀) 第2位 堀田 國弘(兵庫) 第3位 山根 昇(岡山) 大久保和政(埼玉)
第17回	昭和46年9月19日	新潟県 新潟市営体育館	対試合 東軍10 - 9西軍	第1位 板東 治雄(埼玉) 第2位 石原 勝利(熊本) 第3位 山崎 正平(新潟) 井上 晋一(京都)
第18回	昭和47年9月17日	秋田市 秋田県立体育館	抜き試合 東軍3人残り勝	第1位 佐藤 博信(東京) 11人抜き 第2位 谷口 安則(福岡) 10人抜き 第3位 石橋 駒蔵(佐賀) 5人抜き
第19回	昭和48年9月30日	岡山市 岡山武道館	対試合 西軍10 - 8東軍	第1位 奥島 快男(京都) 第2位 青木 彦人(大分) 第3位 三宅大五郎(岡山) 岩谷 文雄(秋田)
第20回	昭和49年9月29日	奈良県 奈良市中央体育館	対試合 西軍21 - 14東軍	
第21回	昭和50年9月28日	岐阜市 岐阜県民体育館	抜き試合 西軍12人残り勝	第1位 伊藤雄三郎(京都) 第2位 小林 三留(大阪) 第3位 小沼 宏至(東京) 優秀選手 松原 輝幸(福岡)

通算成績：女子(東軍5勝・西軍20勝・1引き分け)

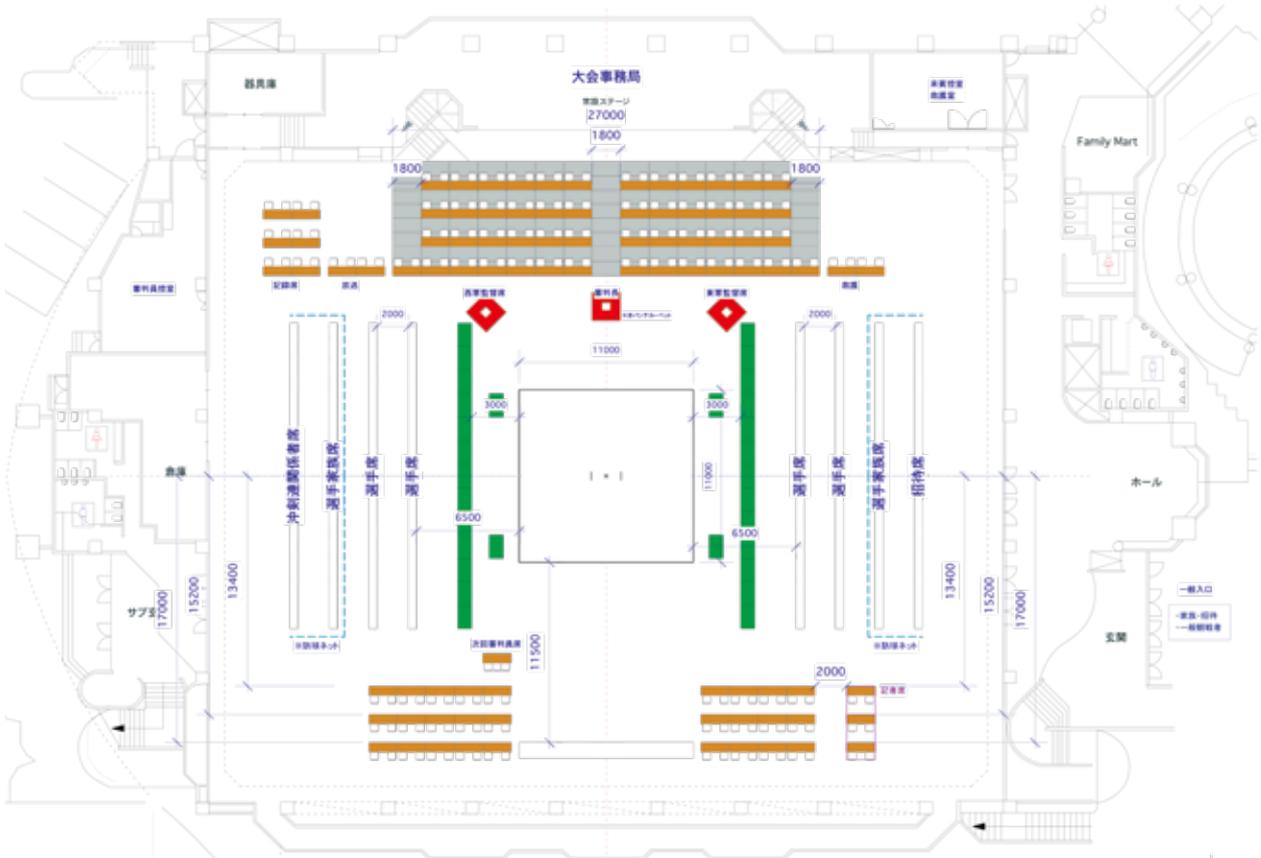
回数	期 日	会 場	勝 敗	個 人 成 績
第22回	昭和51年9月26日	福岡県 福岡市民体育館	抜き試合 西軍6人残し勝	第1位 村山 慶佑(兵庫) 第2位 矢野 博志(東京) 第3位 中居他輝夫(富山) 優秀選手 緒方 敬夫(熊本) 翁長 良明(愛知) 有満 政明(鹿児島) 塩崎 春雄(愛媛)
第23回	昭和52年9月18日	静岡市 静岡県立草薙体育館	対試合 西軍19-14東軍	
第24回	昭和53年10月1日	熊本県 熊本市体育館	抜き試合 西軍20人残し勝	第1位 小川 功(大阪) 第2位 池田 健二(福岡) 第3位 森山 衛(東京)
第25回	昭和54年9月30日	茨城県 水戸市民体育館	対試合 東軍18-16西軍	
第26回	昭和55年9月28日	鳥取市 鳥取武道館	対試合引き分け 東軍16(32点)- 16西軍(32点)	
第27回	昭和56年9月20日	徳島市 徳島市立体育館	対試合 西軍19-15東軍	
第28回	昭和57年9月26日	千葉県 千葉県武道館	対試合 西軍19-16東軍	
第29回	昭和58年9月18日	大分市 大分県立総合体育館	対試合 西軍17-16東軍	
第30回	昭和59年9月30日	伊勢市 県営総合競技体育館	対試合 東軍16-14西軍	
第31回	昭和60年9月22日	大宮市 埼玉栄高等学校体育館	対試合 西軍19-5東軍	
第32回	昭和61年9月8日	高松市 市民文化センター別館	対試合 西軍13-12東軍	
第33回	昭和62年9月27日	京都市 武道センター本館	対試合 西軍13-12東軍	
第34回	昭和63年9月18日	青森県 青森市民体育館	対試合 西軍19-11東軍	
第35回	平成元年10月8日	栃木市 宇都宮市体育館	対試合 西軍17-12東軍	
第36回	平成2年9月30日	兵庫県 文化体育館	対試合 東軍18-13西軍	
第37回	平成3年9月29日	札幌市 中島体育センター別館	対試合 東軍15-14西軍	
第38回	平成4年9月27日	福岡県 福岡市民体育館	対試合 西軍15-10東軍 女子の部 西軍3-2東軍	
第39回	平成5年9月19日	神奈川県 横浜文化体育館	対試合 東軍21-14西軍	
第40回	平成6年9月25日	山口県 スポーツ文化センター	対試合 西軍19-16東軍	
第41回	平成7年9月24日	岩手県 岩手県営武道館	対試合 西軍19-16東軍	
第42回	平成8年9月29日	長崎県 長崎県立総合体育館	対試合 東軍18-17西軍	
第43回	平成9年9月28日	山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園武道館	対試合 西軍18-17東軍 女子の部 東軍3-2西軍	優秀試合賞 男子 山田 博徳(熊本)-忍足 功(千葉) 女子 横須ます子(大阪)-堀部あけみ(栃木) 優秀選手賞 男子 染谷 恒治(千葉) 近藤 亘(徳島) 山野辺辰美(青森) 倉澤 正(東京) 女子 藤田 弘美(福岡)

回数	期 日	会 場	勝 敗	個 人 成 績
第44回	平成10年 9月27日	岐阜県 大垣市武道館	対試合 東軍22-13西軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 山田博徳(熊本) - 岡田一義(三重) 優秀選手賞 男子 島野大洋(大阪) - 福本修三(神奈川) 女子 岡本和明(東京) - 小山正洋(静岡) 山中茂樹(大崎) 玉野弥生(岐阜) 早
第45回	平成11年 9月26日	和歌山県 和歌山ビッグホール	対試合 西軍21-14東軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 西川清紀(東京) - 外山光利(宮崎) 優秀選手賞 男子 矢野博志(福岡) - 有満政明(鹿児島) 女子 原忠生(福岡) 加治屋速人(埼玉) 藤原崇郎(広島) 寺地有馬(大阪) 寺地里美(東京)
第46回	平成12年 9月24日	鳥取県立武道館	対試合 東軍19-16西軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 宮崎正裕(神奈川) - 石田利也(大阪) 優秀選手賞 男子 目黒大作(秋田) - 山田博徳(熊本) 女子 清野忍(山梨) 洋介(鳥取) 島本正勝(東京) 藤元巖(京都) 石田真理子(大阪)
第47回	平成13年 9月23日	群馬県 ぐんま武道館	対試合 東軍18-17西軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 福井賢次(香川) - 鷺見象平(千葉) 優秀選手賞 男子 高橋俊昭(京都) - 鈴木敏雄(北海道) 女子 大澤規男(埼玉) 久保文夫(神奈川) 白石正範(栃木) 長門康子(広島)
第48回	平成14年 9月29日	藤枝市 静岡県武道館	対試合 西軍18-17東軍 女子の部 東軍4-1西軍	優秀試合賞 男子 神崎浩(大阪) - 寺地種寿(東京) 優秀選手賞 男子 島野泰山(大佐賀) - 千葉仁(東京) 女子 稲富政博(佐賀) 島野大洋(大阪) 藤田和恵(福岡)
第49回	平成15年 9月28日	滋賀県立体育館	対試合 東軍19-16西軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 栄花直輝(北海道) - 矢野宏光(愛媛) 優秀選手賞 男子 伊藤次男(神奈川) - 内濱誠志(兵庫) 女子 大澤規男(埼玉) 目黒大作(秋田) 堤福田美佐子(山口)
第50回	平成16年 9月26日	愛媛県武道館	対試合 西軍20-15東軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 宮崎正裕(神奈川) - 松本政司(香川) 優秀選手賞 男子 宮原昇治(静岡) - 江口忠文(大分) 女子 佐藤充伸(宮城) 山中洋介(鳥取) 藤原崇郎(広島) 坪田祐佳(岡山)
第51回	平成17年 9月25日	鹿児島県 鹿児島アリーナ	対試合 東軍22-13西軍 女子の部 西軍4-1東軍	優秀試合賞 男子 栄花直輝(北海道) - 佐藤誠(兵庫) 優秀選手賞 男子 忍足功(千葉) - 山田博徳(熊本) 女子 寺地賢二郎(東京) 豊村東盛(東京) 亀井徹(熊本) 遠藤律子(秋田)
第52回	平成18年 9月24日	新潟県 柏崎市総合体育館	対試合 西軍21-14東軍 女子の部 西軍4-1東軍	優秀試合賞 男子 石橋正久(福岡) - 安永宗司(静岡) 優秀選手賞 男子 高橋俊昭(京都) - 宮澤保行(宮城) 女子 小山正洋(静岡) 重松隆滋(滋賀) 藤原崇郎(広島) 稲垣恵理(岡山)
第53回	平成19年 9月16日	堀原運動公園 茨城県武道館	対試合 東軍18-17西軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 山村勝弘(三重) - 内濱誠志(兵庫) 優秀選手賞 男子 栗田和市郎(東京) - 山中洋介(鳥取) 女子 居村吉記(石川) 江口忠文(大分) 千葉仁(東京) 藤田和恵(福岡)
第54回	平成20年 9月14日	岡山県体育館 (桃太郎アリーナ)	対試合 西軍21-14東軍 女子の部 東軍3-2西軍	優秀試合賞 男子 宮崎正裕(神奈川) - 松本政司(香川) 優秀選手賞 男子 白石正範(栃木) - 高橋俊昭(京都) 女子 清野忍(山梨) 難波康弘(岡山) 藤原崇郎(広島) 古谷崇子(東京)
第55回	平成21年 9月13日	埼玉県 越谷市立総合体育館	対試合 西軍18-17東軍 女子の部 西軍4-1東軍	優秀試合賞 男子 佐藤誠(兵庫) - 岡本和明(東京) 優秀選手賞 男子 末野誠二(鹿児島) - 濱崎真満(東海) 女子 井島章(千葉) 梯正治(東京) 下川美佳(鹿児島)
第56回	平成22年 9月19日	佐賀県総合体育館	対試合 西軍18-17東軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 下橋和彦(鹿児島) - 栄花直輝(北海道) 優秀選手賞 男子 藤原崇郎(大阪) - 中田瑋士(東京) 女子 江藤善久(大分) 松下悦郎(鹿児島) 二子石貴資(兵庫) 庄島幸恵(佐賀)

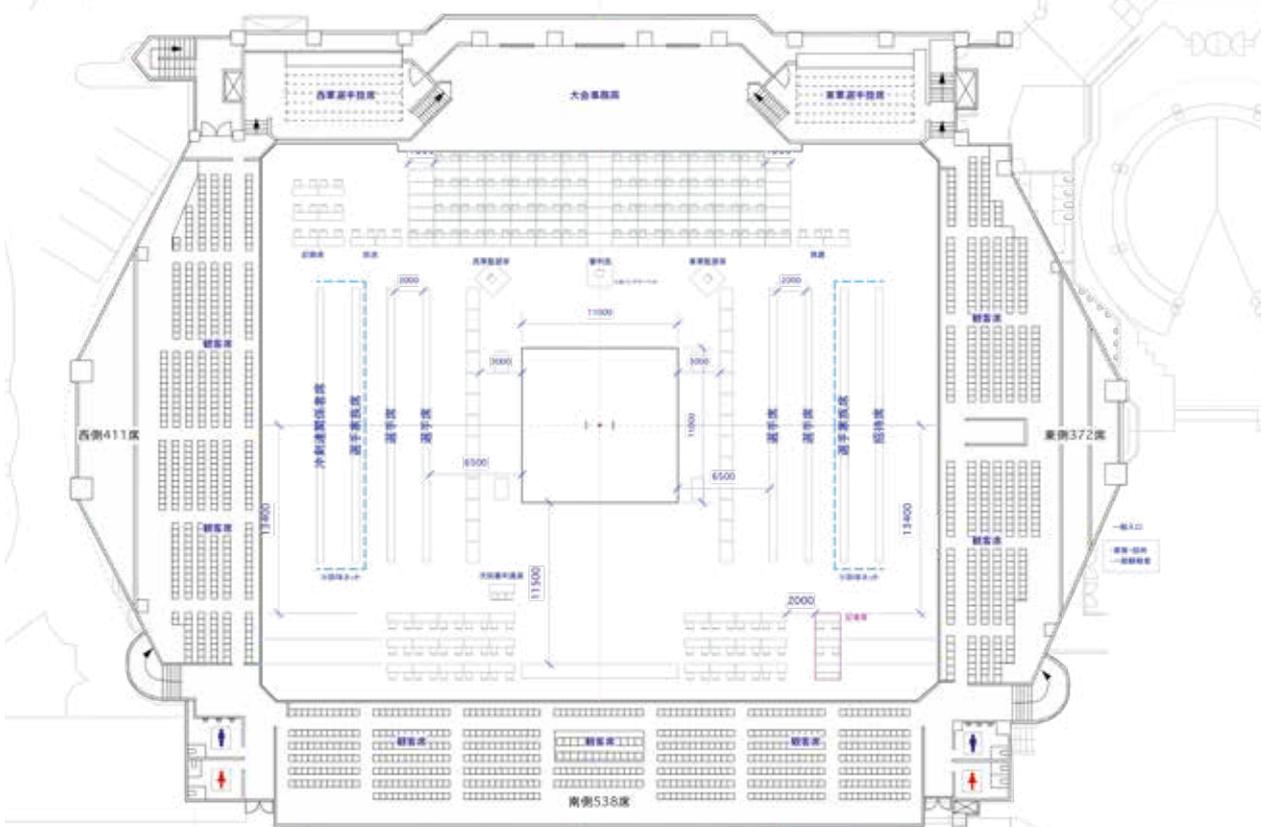
回数	期 日	会 場	勝 敗	個 人 成 績
第57回	平成23年9月18日	山形県上山市 体育文化センター	対試合 西軍19-16東軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 石田 洋二(大阪) - 宮崎 史裕(神奈川) 優秀選手賞 男子 亀井 徹(熊本) - 濱崎 満(熊本) 女子 石田 充(山形) 新二(熊本) 笠村 浩二(神奈川) 河田 清美(徳島) 下諸 純孝(島根) 石田真理子(大阪)
第58回	平成24年9月16日	宮崎市 宮崎県武道館	対試合 西軍19-16東軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 軽米 拓磨(千葉) - 加治屋隼人(岡山) 優秀選手賞 男子 香田 郡秀(茨城) - 山中 洋介(鳥取) 平野 誠司(徳島) 寺本 長友(宮崎) 内濱 誠志(兵庫) 小山 正洋(静岡) 島山 隆吉(愛知) 女子 田中百合香(京都)
第59回	平成25年9月15日	山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園 武道館	対試合 東軍23-12西軍 女子の部 西軍4-1東軍	優秀試合賞 男子 吉田 茂生(徳島) - 栄花 直輝(北海道) 優秀選手賞 男子 石塚 美文(大阪) - 濱崎 満(東京) 内村 良一(東京) 寺本 将司(大阪) 上原 勲雄(山梨) 古川 和男(北海道) 佐藤 桂生(兵庫) 女子 宮崎 幸恵(佐賀)
第60回	平成26年9月21日	鳥根県立浜山体育館 (カミアリーナ)	対試合 東軍19-16西軍 女子の部 西軍4-1東軍	優秀試合賞 男子 清野 忍(山梨) - 平野 誠司(徳島) 優秀選手賞 男子 香田 郡秀(茨城) - 山中 洋介(鳥取) 上園 隆(鹿児島) 石井 勝義(福岡) 鍋山 修弘(茨城) 亀井 徹(熊本) 石田 利也(東京) 女子 杉本早恵子(京都)
第61回	平成27年9月6日	熊本市総合体育館	対試合 西軍20-15東軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 宮崎 正裕(神奈川) - 松本 政司(香川) 優秀選手賞 男子 塚本 博之(東京) - 亀井 徹(熊本) 小田口亨弘(岩手) 清水 新二(熊本) 寺本 将司(大阪) 上地安一郎(沖縄) 栄花 直輝(北海道) 女子 早津 理恵(神奈川)
第62回	平成28年9月18日	福島県 郡山総合体育館	対試合 西軍19-16東軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 稲富 政博(佐賀) - 佐藤 勝信(東京) 優秀選手賞 男子 江口 忠文(大分) - 末平 佑二(石川) 鈴木 洋隆(福岡) 佐藤 博光(大阪) 鍋山 隆弘(茨城) 高橋 英明(京都) 東 良美(愛知) 女子 緒方 有希(熊本)
第63回	平成29年9月10日	福岡市民体育館	対試合 東軍18-17西軍 女子の部 西軍4-1東軍	優秀試合賞 男子 栄花 直輝(北海道) - 蓮尾 孝幸(福岡) 優秀選手賞 男子 石田 利也(東京) - 山中 洋介(鳥取) 立花 義人(福岡) 竹中健太郎(鹿児島) 佐賀 豊(北海道) 大城戸 功(愛媛) 女子 豊村 東盛(東京) 小津野祐佳(岡山)
第64回	平成30年9月2日	仙台市青葉体育館	対試合 東軍18-17西軍 女子の部 東軍4-1西軍	優秀試合賞 男子 小野田稔秀(長崎) - 高鍋 進(神奈川) 優秀選手賞 男子 二子石貴資(兵庫) - 氏家 道男(東京) 佐藤 充伸(宮城) 末益 正紀(鹿児島) 大澤 規男(埼玉) 石田 洋二(大阪) 古川 和男(北海道) 女子 小又 友美(東京)
第65回	令和元年9月22日	浜松アリーナ	対試合 東軍25-10西軍 女子の部 西軍3-2東軍	優秀試合賞 男子 松本 政司(香川) - 寺地賢二郎(東京) 優秀選手賞 男子 山中 洋介(鳥取) - 石田 利也(東京) 内村 良一(東京) 寺本 将司(大阪) 栄花 直輝(北海道) 宮崎 正裕(神奈川) 女子 下島貴代一(岐阜) 山本真理子(大阪)
第66回	令和2年9月6日	昭和電工武道スポーツ センター	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	
第67回	令和3年9月5日	昭和電工武道スポーツ センター	対試合 東軍18-17西軍 女子の部 東軍3-2西軍	優秀試合賞 男子 古川 和男(北海道) - 大城戸 功(愛媛) 優秀選手賞 男子 平塚 恭子(山梨) - 下川 美佳(鹿児島) 天野 聡(神奈川) 小関 太郎(東京) 竹中健太郎(鹿児島) 稲富 政博(佐賀) 東 良美(愛知) 女子 正代小百合(東京)
第68回	令和4年9月18日	神戸市立中央体育館	対試合 東軍15-12西軍 女子の部 東軍3-3西軍 ※男女総合成績で東軍の勝ち	優秀試合賞 男子 石田 利也(東京) - 船津 晋治(大阪) 優秀選手賞 寺地 里美(東京) - 石田真理子(大阪) 村山 千夏(埼玉) 大城戸 知(大阪) 政司 佐賀 豊(北海道) 鈴木 剛(千葉) 内村 良一(東京)
第69回	令和5年9月24日	沖縄県立武道館	対試合 東軍 - 西軍 女子の部 東軍 - 西軍	優秀試合賞 () - () 優秀選手賞 () - () () () () () () ()

沖縄県立武道館 大会会場案内図

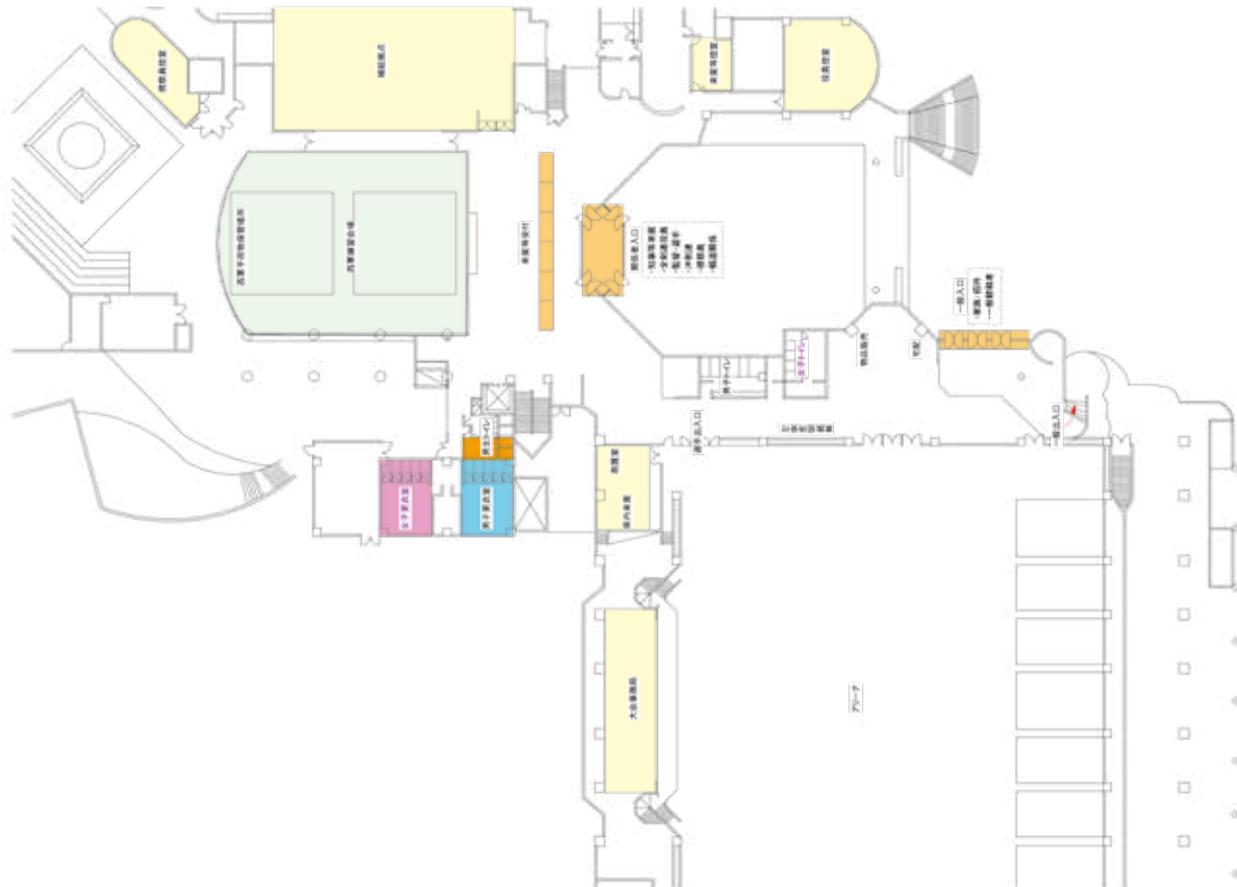
1階 アリーナ棟



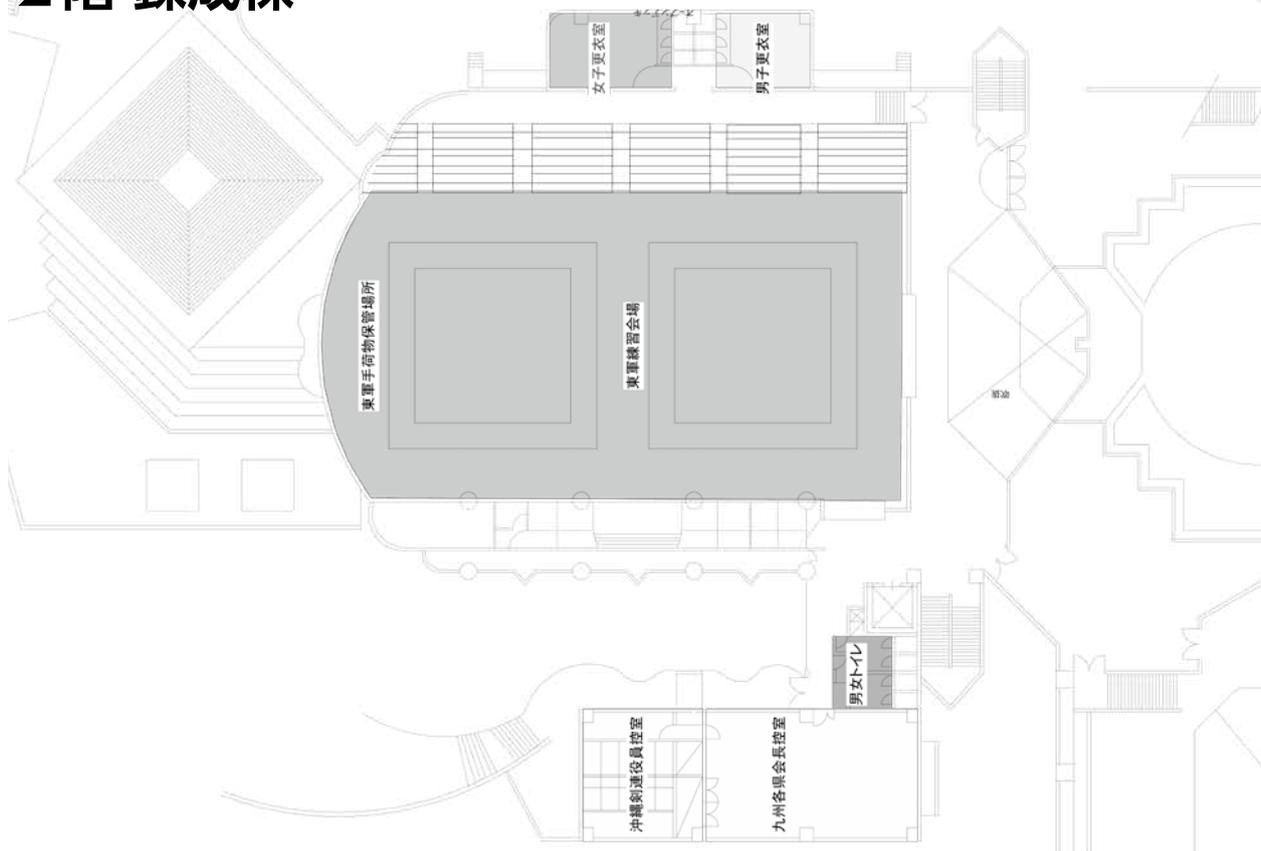
2階 アリーナ棟



1階 錬成棟



2階 錬成棟



全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)

令和5年6月27日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL 03(3211)5804	FAX (3211)5807
会長 網代 忠宏	九段事務所	102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	TEL 03(3234)6271	FAX (3234)6007

地方代表団体	会 長	〒	事 務 局 所 在 地	電 話	F A X
(一財)北海道剣道連盟	武 田 牧 雄	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662-1663	(820)1662-1663
青森県	増 田 知 幸	038-0059	青森市大字油川字中道19-6	017(787)2485	(787)2485
秋田県	小 松 誠	011-0945	秋田市土崎港西 5-11-10	018(838)1783	(845)3255
山形県	安 部 美知雄	990-0025	山形市あこや町 3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県	小笠原 宏 志	020-0122	盛岡市みたけ 3-38-20 (一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220	(645)2220
(一財)宮城県	井 上 雅 勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県	長谷川 弘 一	960-0102	福島市鎌田字町 23 サラダハウス A101 号	024(597)8218	(597)8218
(一財)茨城県	水 田 重 則	310-0903	水戸市堀町 1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県	白 石 正 範	320-0066	宇都宮市駒生 1-1-6 栃木県教育会館 2 階	028(624)4567	(627)4001
群馬県	小 林 一 隆	371-0047	前橋市関根町 3-27-12	027(235)0870	(235)0870
(公財)埼玉県	栗 原 憲 一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 浦和合同庁舎 4 階	048(834)8869	(834)8879
(一財)東京都	千 葉 胤 道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一財)千葉県	忍 足 功	263-0024	千葉市稲毛区穴川 2-3-20	043(285)4331	(285)4333
神奈川県	小 林 英 雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町 2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル 307 号	045(321)6175	(321)6176
山梨県	渡 邊 宏 一	409-3804	中央市井之口 150-2	055(278)6162	(278)6163
(一財)新潟県	荻 莊 誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南 3-1-21 北陽ビル 2 階	025(384)4784	(384)4794
(一財)石川県	南 信 廣	920-0811	金沢市小坂町西 57-3 KS ハイッ 205 号	076(253)0310	(253)0341
(一財)富山県	大 門 進	939-8076	富山市太郎丸 2-77 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一財)福井県	片 山 外 一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮 1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一財)長野県	加 瀬 浩 明	380-0844	長野市諏訪町 503	026(237)8939	(235)8266
(一社)静岡県	二 橋 高 弘	420-0822	静岡市葵区宮前町 355	054(263)5428	(263)8367
(一財)愛知県	大 嶽 將 文	453-0035	名古屋市中村区十王町 11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県	堤 俊 彦	500-8384	岐阜市藪田南 1-11-12 岐阜県水産会館 611	058(274)1521	(274)8949
三重県	中 森 博 文	514-0007	津市大谷町 152 大谷ハイム 1-202 号	059(226)5975	(229)7407
(一財)滋賀県	中 野 正 堂	524-0022	守山市守山 4-7-20 辻田ビル 2 階	077(514)3165	(514)3178
(一財)京都府	伊 吹 文 明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町 19	075(761)8288	(761)8287
(公社)大阪府	長 榮 周 作	530-0044	大阪市北区東天満 2-8-1 若杉センタービル別館 502 号	06(6351)3345	(6351)3346
(一財)奈良県	吉 田 克 法	630-8115	奈良市大宮町 5-3-14 不動ビル 505 号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県	世 耕 弘 成	640-8329	和歌山市田中町 5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(公財)兵庫県	神 谷 明 文	657-0838	神戸市灘区王子町 1-2-8 虹ヶ池ハイッ 201 号	078(861)5145	(802)5240
(一財)岡山県	藤 田 長 久	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一財)広島県	田 中 秀 和	730-0014	広島市中区上鞆町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一財)山口県	中 西 章	753-0083	山口市後河原 237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
(一財)鳥取県	岸 田 芋	680-0036	鳥取市川端 3-216 瀧本ビル 3 階	0857(29)2668	(29)2668
鳥根県	高 木 弘 伸	690-0883	鳥根県松江市北田町 47-1 鬼村純方	0852(27)6222	0852(27)6222
香川県	三 原 悦 男	760-0033	高松市丸の内 4-6 アラキビル 2 階南	087(880)4463	(880)4467
(一社)愛媛県	俊 野 徹 人	790-0952	松山市朝生田町 5-3-28 福泉ビル 205 号	089(941)9394	(941)3013
高知県	渡 邊 三 則	781-5102	高知市大津甲 2009-34	090-1009-6857	
徳島県	藤 川 和 秋	770-0861	徳島市住吉 3-9-6 栗本マンション 106 号	088(652)2337	(652)2360
(公社)福岡県	青 柳 俊 彦	810-0052	福岡市中央区大濠 1-1-1 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
佐賀県	川 上 春 生	849-0923	佐賀市日の出 2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一財)長崎県	灰 谷 達 明	850-0036	長崎市五島町 5-34 トーカンマンション 1-E	095(826)5220	(826)5220
(一財)大分県	三 浦 悟	870-0820	大分市西大道 1-1-76 第 2 ハルキコーポ 101 号	097(547)9980	(547)9981
(一財)熊本県	尾 方 正 照	862-0950	熊本市中央区水前寺 5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県	橋 口 光 博	880-2102	宮崎市大字有田 371-4	0985(62)3890	(62)3893
鹿児島県	俣 木 正 喜	890-0062	鹿児島市与次郎 1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一財)沖縄県	親 川 光 俊	900-0026	那覇市奥武山町 51-2 沖縄県体協スポーツ会館 501 号	098(859)0410	(996)4616

月刊 剣窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

全剣連発行の頒布物一覧

令和5年9月

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)	頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3	剣道用具の保守・管理(英語版)	¥400	69	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2	剣道学科審査の問題例と解答例(初段～五段)	¥500	175	3
FIK剣道試合・審判規則(和英版)	¥1,000	140	5	剣道授業の展開(DVD付き)	¥1,000	346	7
居合道試合・審判規則	¥500	55	3	絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
杖道試合・審判規則	¥500	58	3	木刀による剣道基本技稽古法 DVD	¥3,600	92	15
称号・段級位審査規則	¥400	81	3	居合DVD(英語版)	¥3,100	93	15
日本剣道形解説書	¥200	93	2	剣道人バッジ ネジ	¥1,300	13	16
日本剣道形解説書(英語版)	¥900	240	5	剣道人バッジ タック	¥1,300	13	16
居合解説	¥250	74	3	カフス・タイピン(真鍮バー)	¥6,100	66	30
居合解説(英語版)	¥500	79	3	FIKバッジ(ネジ・タック)	各¥1,100	19	18
杖道解説	¥500	186	7	男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
杖道解説(英語版)	¥900	183	7	女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
剣道指導要領	¥2,900	554	7	竹刀検査用基準器 ゲージ1(先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55	3
剣道指導要領(英語版)	¥3,400	858	11	竹刀検査用基準器 ゲージ2(ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2	竹刀検査用基準器 検査台(ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
剣道和英辞典(第3版)	¥2,100	283	14	竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
剣道社会体育教本(改訂版)	¥2,100	664	13	ぶしし手ぬぐい(白・紺・黄・あずき)	各¥500	38	4
剣道医学Q & A(第3版)	¥2,100	785	15	ぶししクリアファイル(5枚セット)	¥500	127	2
剣道医学救急ハンドブック(第3版)	¥500	97	4	ぶししステッカーシート	¥200	8	1
剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル(第二刷)	¥300	90	3	ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
剣道講習会資料	¥500	310	8	ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2	設立七十周年記念出版「全剣連と剣道界 この十年の歩み」	¥2,500	980	28
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2				

* 品物はすべて消費税込みとなります。
* 全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

- (1) インターネットからのお申し込み……<https://zenkenren-shop.com>
- (2) FAXでのお申し込み…心力舎企画株式会社 03-3451-6905 へFAXして下さい。
①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。
お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法(②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

- ①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料(送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

- ①宅配便…送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。
②メール便…(この場合、代金引換はご利用いただけません。)
全国一律、500円で、A4サイズ(厚さ20mmまで)の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

第69回 全日本東西対抗剣道大会

期日 令和5年9月24日(日)
会場 沖縄県立武道館アリーナ棟

沖縄県那覇市奥武山52

主催 全日本剣道連盟
〒102-0074
東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階
TEL:03-3234-6271 FAX:03-3234-6007

主管 沖縄県剣道連盟
〒900-0026
沖縄県那覇市奥武山51-2
沖縄県体協スポーツ会館501号室
TEL:098-859-0410 FAX:098-996-4616

印刷 (有)サン印刷

私たちは《剣道》を応援しています

